

海外安全対策情報（平成29年7月～9月）

1. 地域情勢

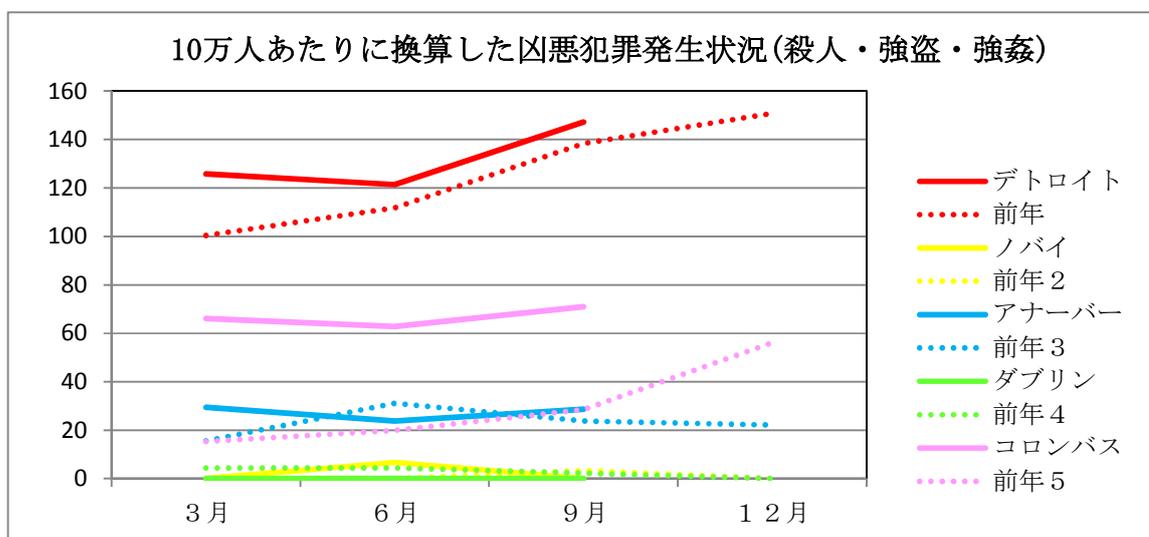
デトロイト市内では、ダウンタウンやミッドタウンを除く地域で依然として殺人や強盗事件等の凶悪犯罪が多発しています。FBIが公表した2016年の犯罪統計では、人口10万人あたりの凶悪犯罪発生数で、再び全米で最も危険な都市とされました（前年はセントルイスに次ぐワースト2）。治安を取り戻しつつあるとされるダウンタウンやミッドタウンでも深夜帯を中心に強盗事件が発生していますので、夜間の外出は極力控えるようお願いします。

邦人が多く居住するノバイ市（ミシガン州）やダブリン市（オハイオ州）の治安は引き続き良好と言えますが、深夜の外出は控える、強盗等に遭った際は犯人を刺激しないなど、米国内での一般的な留意事項にはご注意ください。

2. 犯罪発生状況

管轄内の主要都市と邦人が多く居住する地域の犯罪発生状況（件数）は以下のとおりです（期間：2017年7月1日から9月30日。括弧内は前3か月期比）。

州	都市名	殺人	性犯罪	強盗	侵入盗	車上荒らし	自動車盗
ミシガン州	デトロイト	59 (+15)	287 (+80)	706 (+89)	1996 (+180)	1947 (+414)	1968 (+40)
	ノバイ	0 (±0)	0 (±0)	0 (-2)	13 (+1)	44 (+8)	10 (-5)
	アナーバー	0 (±0)	25 (+8)	10 (-2)	75 (+8)	120 (+67)	29 (±0)
オハイオ州	ダブリン	0 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	4 (-6)	50 (+1)	6 (-38)
	コロンバス	27 (-1)	6 (-13)	612 (+88)	1476 (+1)	2054 (+350)	918 (+129)
	シンシナティ	20 (+4)	76 (+19)	322 (+174)	905 (+388)	962 (+197)	370 (+7)



※シンシナティはシステム変更により本年3月以前の統計なし

3. テロ情勢

ミシガン州とオハイオ州内における具体的なテロの脅威情報には接していませんが、当地の治安当局も「個人によるテロを完全に阻止することは困難で、いかなる場所においても注意は常に必要」との見解を示しています。管内でも、本年6月にはミシガン州フリント市の空港で警察官がナイフで襲撃される事件、昨年11月にはオハイオ州立大学の構内で自動車とナイフによる襲撃事件が発生しています。

空港やイベント会場、ショッピングモールなど不特定多数が集まる場所では、特に周囲の状況に配意し、挙動不審な者や置き去りのバッグなど不審を感じた際は、その場を離れる、銃声らしき音が聞こえた際は身を低くして周囲の状況を確認するなどの注意をお願いします。

4. 日系企業の安全等に関わる諸問題

デモやヘイトクライムなど対日感情の悪化に関する事案は把握していません。